

どうかんがえる？

衆議院解散 総選挙 2026

DO THINK

私利私欲

党利党略！ 高市内閣の衆議院解散

2026年1月19日、高市首相は記者会見で、23日に衆院を解散すると表明し、2月8日に選挙が行われることになりました。

いま、SNSでは衆議院解散について、以下のように批判のコメントにあふれています。

- 受験シーズン真っ只中での大音量選挙カーは絶対にやめてほしいです。
- 12月には総理本人から解散しないとか抜かしてたのにも関わらず結局自分のことばかり。国民のことはどうでもいい。
- 統一教会の文書に高市早苗という名前が32回出てきたことを追及される前に解散するということであればとんでもない。反日カルト宗教の支援を受けている自民党に一議席たりとも与えてはいけな。参政・維新も同じ。
- こんな大事な時に600億円を使い選挙してる場合ですか？
- 国民のことを考えていれば、物価高対策や円安対策を最優先するはずだ。
- ネットでは既に統一協会との関係隠しの解散だと盛り上がっていますね。

飯島 滋明

名古屋学院大学教授
憲法学・平和学

※戦争をさせない1000人委員会ウェブサイトに掲載された論考「壊憲・改憲ウォッチ (63) 高市首相下での衆議院冒頭解散報道と「憲法」もご覧ください。

戸部信喜著／高橋和之補訂『憲法 第8版』（岩波書店、2023年）は、「解散は国民に対して内閣が信を問う制度であるから、それにふさわしい理由が存在しなければならない」のであり（359頁）、「内閣の一方的な都合や党利党略で行われる解散は、不当である」と指摘します（360頁）。元衆議院議長も、内閣が勝手に衆議院の解散をすることは憲法の趣旨を歪曲すると指摘しています（1973年7月11日保利茂書簡）。高市首相の衆議院解散に「ふさわしい理由」があるのでしょうか？ 統一協会との関係や「裏金」問題の追及を避けるための衆議院解散になれば、「私利私欲」「党利党略」解散です。1月に衆議院が解散されれば年度内の予算成立は困難になります。円安や物価高対策など、私たちの生活に関わる対策も遅れます。自民党政治家の「保身」のための衆議院解散に700億円以上の税金を使うのを認めるのでしょうか？ 今回、自民党はみそぎが済んだとして、裏金議員の重複立候補を認めます。主権者として投票で意志を示しましょう。

外国人問題は争点隠し

自民党や参政党などから、衆議院選挙で「外国人問題」を争点にしようとする発言が出ています。それに対してSNSで「外国人が争点って、物価高隠し」「外国人政策より、物価高。米価高騰だ」等の批判があがっています。韓国紙が報じた統一協会の内部文書では、2021年の衆議院選挙で統一協会が自民党議員290人を応援したとされ、高市早苗首相の名前も32回も登場しています。外国人問題であれば、外国の団体であり、多くの日本人にひどい苦しみを与えてきた「統一協会」と自民党の関係を問題にする必要があります。

党利党略の解散を認めない外国のしくみ

ドイツでは基本法（実際には憲法）で解散権に制限がかけられています。その理由について、衆議院法制局が作成した「『衆議院の解散』に関する資料（2025年5月8日付）」では、「諸外国で解散権を憲法又は法律で制限している理由は、内閣・首相に自由な解散権を与えた場合、与党に有利なタイミングを選んでの党利党略での解散が横行する可能性があり、何らかの歯止めが必要だと考えられたため」との木村草太教授（憲法学）の見解が紹介されています。

試験前に静かな環境で学ぶ機会を奪う冒頭解散

大学も1月末から2月上旬は定期試験の期間です。4年生には卒業がかかっている学生もいます。そうした学生が静かな環境でテスト勉強をしたいと考えても、選挙カーなどで騒がしくなる可能性があります。入試期間にも重なり、多くの受験生は静かな環境で最後の追い込みの入試勉強ができなくなります。学生、特に受験生のストレスは相当なものになるでしょう。自民党の議席を増やしたい、統一協会や裏金問題の追求を避けるために1月に衆議院解散する。高市首相は将来を担う人たちのことを考えているのでしょうか？



戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

増税・軍拡に
NO!

くわしくは <http://www.anti-war.info/shomei/>

平和といのちを大切にする
政治へと変えるため、
署名へのご協力を！

